

# I 三原市の現況等

## ■ 三原市の位置

本市は、中国地方の中心部、広島県の中央東部に位置しており、面積は471.51 km<sup>2</sup>です。竹原市、東広島市、世羅町、尾道市に接しており、新幹線の停車駅であるJR三原駅からJR広島駅までは約30分で連絡されています。



図 位置図

## ■ 自然条件

気候は、温暖・多照少雨といった瀬戸内海式気候に属し、年平均気温は南部で15～16度、北部で12～13度、年間降水量は南部で約1,200mm、北部で約1,300mmとなっています。

地形は、大峰山系により区分される南部と北部とでは様相が異なっており、南部には沼田川流域の平野に加えて、瀬戸内海と山地に囲まれた帯状の平野が広がり、北部には、世羅台地の一部をなす丘陵状の平地が広がっています。



写真 沼田川河口付近の市街地



写真 北部の田園風景

# I 三原市の現況等

## ■ 人口

本市の人口は、昭和60(1985)年をピークに継続的に減少しており、今後も減少傾向が続くと考えられます。また、広島県内における人口割合についても、昭和55(1980)年より継続的に減少しています。

本市の65歳以上人口は、昭和55(1980)年から継続的に増加しており、高齢化率(65歳以上人口の割合)は35.7%で広島県平均の29.6%を大きく上回っています。

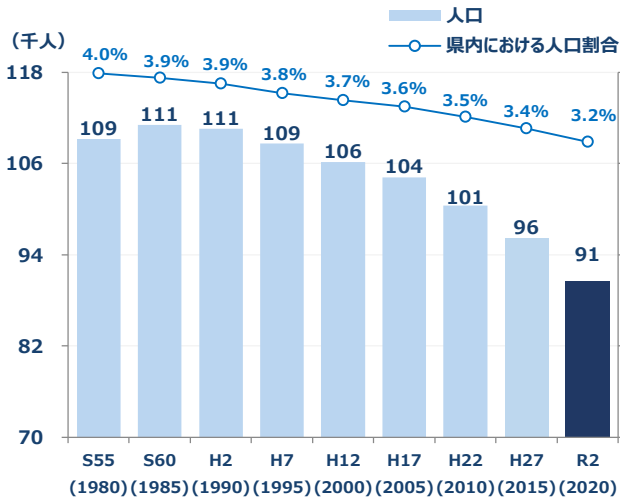


図 総人口と県内における人口割合

資料：国勢調査

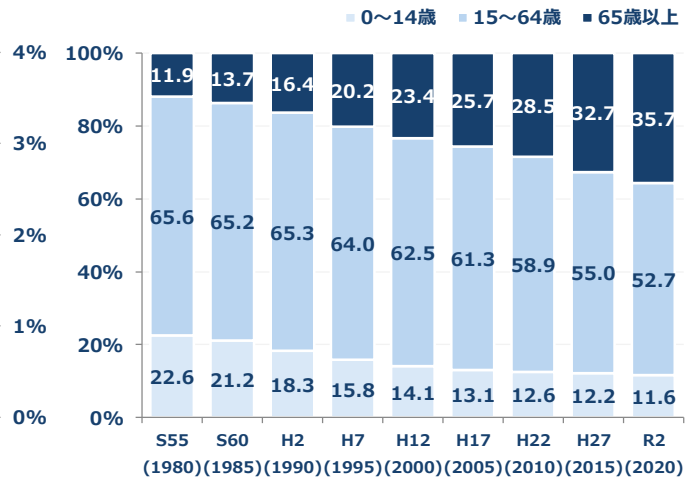


図 年齢3区分別人口割合※1

資料：国勢調査

※1：年齢3区分別人口割合は年齢不詳人口を除き算出

## ■ 一般世帯数

本市の一般世帯数は、昭和55(1980)年以降増加傾向にあるものの、世帯人員数は減少しており、平成7(1995)年以降、3人を下回っています。核家族化や単身世帯の増加によるものと推測されます。なお、世帯人員数は、広島県平均を継続的に上回っています。

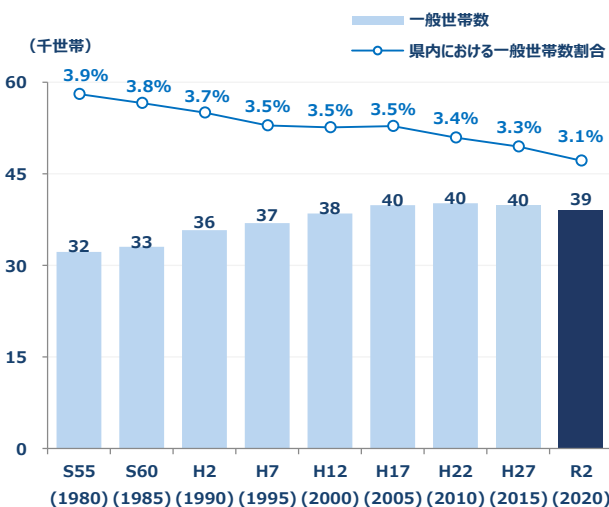


図 一般世帯数と県内における一般世帯数割合

資料：国勢調査

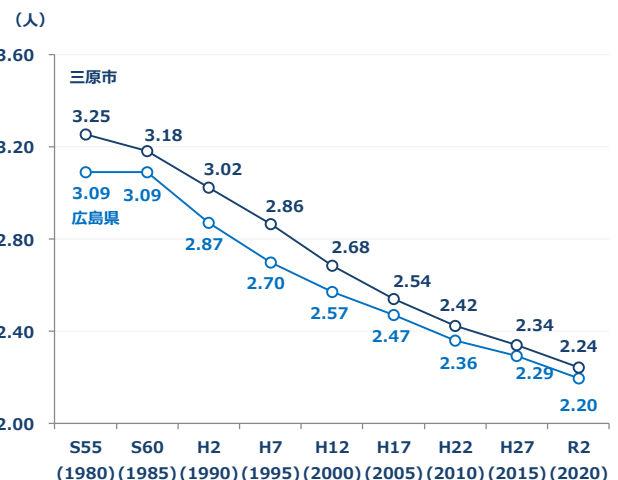


図 一般世帯人員数(広島県平均との比較)

資料：国勢調査

# I 三原市の現況等

## ■ 産業別就業者数

本市の就業者数は減少傾向にあり、令和2(2020)年では、41、111人となっています。  
構成比率をみると、第1次産業が5.4%、第2次産業が30.7%、第3次産業が63.9%であり、第1次産業、第2次産業が減少する一方、第3次産業が増加傾向にあります。

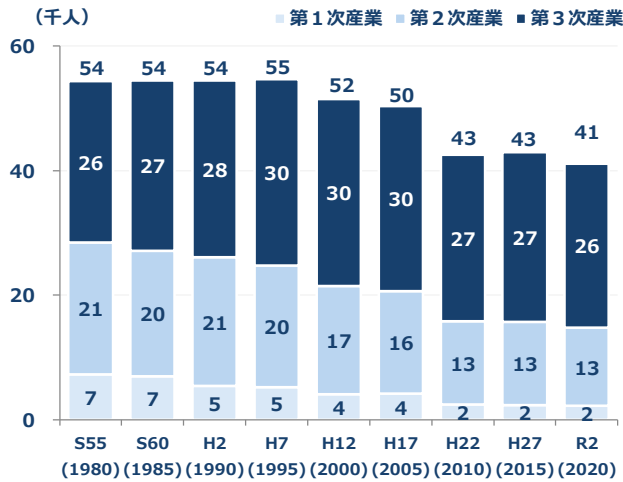


図 産業別就業者数の状況

資料：国勢調査

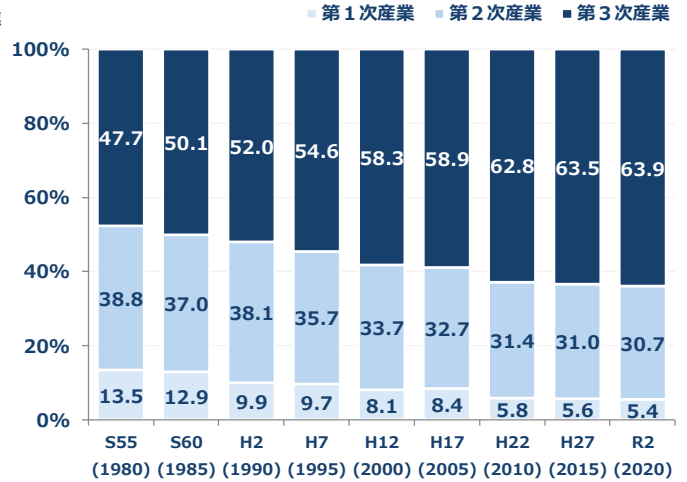


図 産業別就業者数の状況 (割合)

資料：国勢調査

## ■ 工業

本市の工業の状況をみると、事業所数、従業者数は、緩やかに減少しており、製造品出荷額等は、増加傾向にありましたが、平成22(2010)年以降、減少傾向に転じています。令和3年(2021)年の事業所数は188事業所、従業者数は7,847人、製造品出荷額等は約3,040億円となっています。

県内シェアをみると、従業者数、製造品出荷額等は減少傾向にあり、事業所数は微増傾向にあります。令和3年(2021)年の事業所数県内シェアは約3.9%、従業者数県内シェアは約3.8%、製造品出荷額等県内シェアは約3.4%となっています。

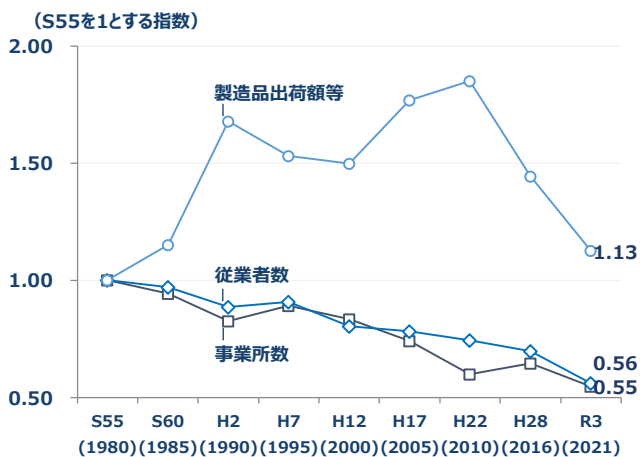


図 工業の状況

資料：工業統計調査、経済センサス (H28・R3)

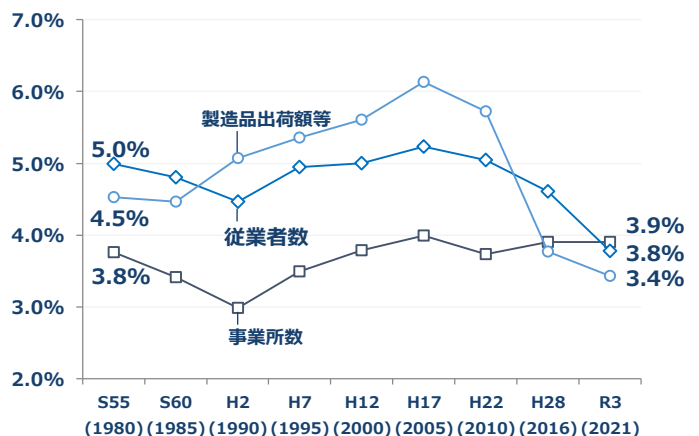


図 工業の県内シェアの状況

資料：工業統計調査、経済センサス (H28・R3)

# I 三原市の現況等

## ■ 商業

平成15年度広島県商圏調査報告書によると、本市は旧三原市を中心として竹原市、旧世羅町、旧本郷町、旧久井町、旧大和町、旧拆戸田町からなる独立型商圏を形成しています。

事業所数、年間商品販売額はいずれも県内シェアとともに減少傾向にあり、従業者数は近年増加傾向にあるものの、県内シェアは減少傾向が続いています。令和3（2021）年現在、事業所数674事業所、従業者数4,825人、年間商品販売額82,541百万円となっています。

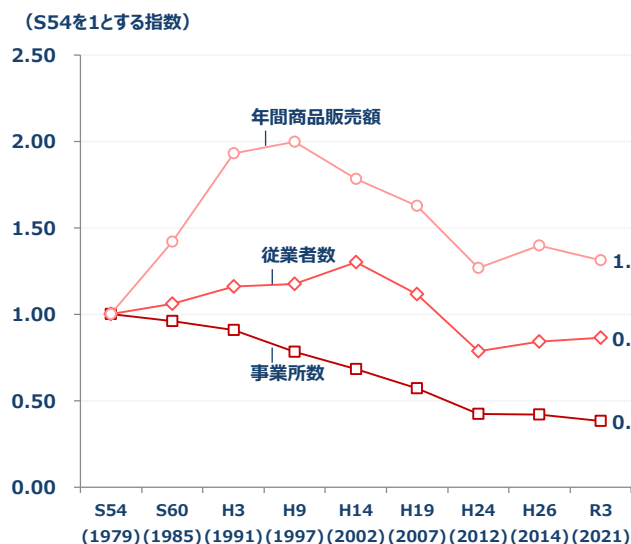


図 商業の状況（指数）

資料：商業統計調査、経済センサス（R3）

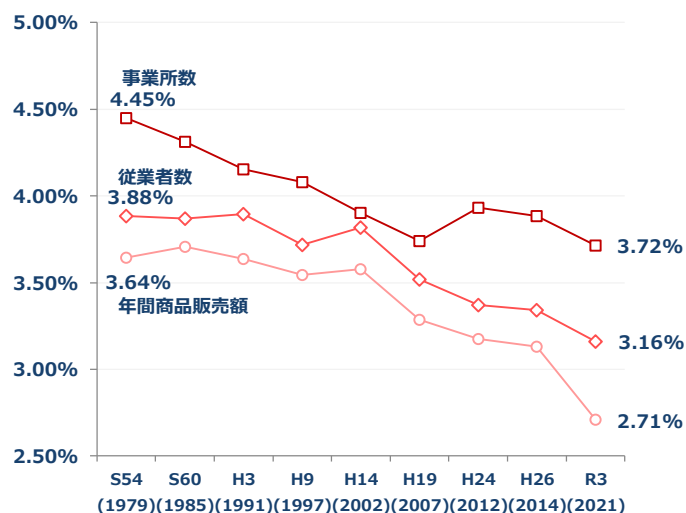


図 商業の県内シェアの状況

資料：商業統計調査、経済センサス（R3）



写真 三原西部工業団地



写真 商店街

# I 三原市の現況等

## ■ 農業

農家戸数は減少傾向であり、令和2(2020)年現在、3,238戸となっていますが、戸当たり経営耕地面積は令和2(2020)年を除いて近年増加傾向にあり、令和2(2020)年現在、約0.83haとなっています。

経営耕地面積を耕地種類別にみると、田・畑・樹園地のいずれも減少傾向にあり、令和2(2020)年では、田は2,435ha、畑は148ha、樹園地は105haとなっています。

久井町、大和町、八幡町や沼田東町、沼田西町は、基盤整備された優良な農地が広がっています。

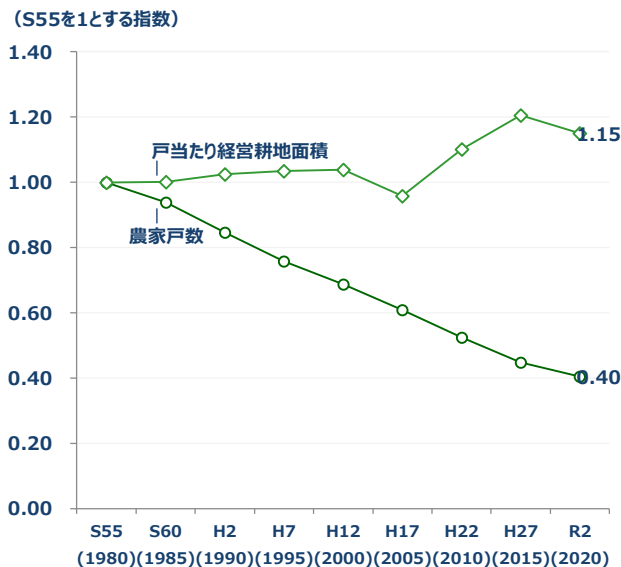


図 農家戸数と戸当たり経営耕地面積の状況（指数）  
資料：農林業センサス

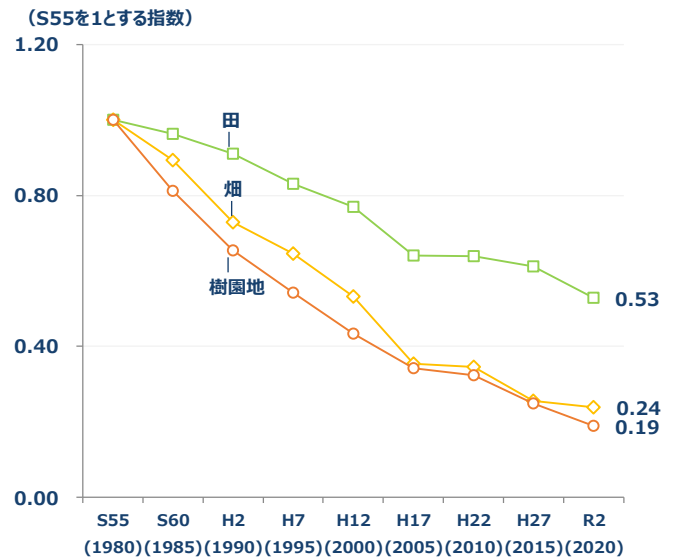


図 種類の経営耕地面積の状況（指数）  
資料：農林業センサス



# I 三原市の現況等

## ■ 三原市長期総合計画基本構想（令和7年3月）

### 2 施策の体系

〈基本目標〉		〈政策〉	〈施策〉
<b>1</b> ともに支え合い、 ともに認め合えるまち	1-1	人権、男女共同参画	1-1-1 人権教育・啓発の推進 1-1-2 男女共同参画社会の形成
	1-2	市民活動	1-2-1 地域づくり活動の活性化 1-2-2 市民協働のまちづくりの推進
	1-3	国際化・多文化共生	1-3-1 国際化・多文化共生の推進
<b>2</b> 三原で生まれ、育ち、学んで 良かったと思えるまち	2-1	子ども・子育て	2-1-1 子ども・子育て支援の充実
	2-2	学校・就学前教育	2-2-1 学校教育・就学前教育の充実 2-2-2 教育環境の整備・充実
	2-3	生涯学習、文化、スポーツ	2-3-1 生涯学習の振興 2-3-2 青少年の健全育成 2-3-3 文化・芸術の振興 2-3-4 スポーツの推進
<b>3</b> 社会に調和し、安全・安心・ 快適に暮らせるまち	3-1	健康、医療	3-1-1 健康づくりの推進 3-1-2 医療体制の維持
	3-2	福祉、介護	3-2-1 地域共生社会の推進 3-2-2 長寿社会対策の推進 3-2-3 障害者福祉の充実 3-2-4 社会保障制度の適正な運営
	3-3	防災・減災	3-3-1 災害対応力の強化 3-3-2 災害に強いまちの構築
	3-4	生活の安全安心	3-4-1 消防・救急体制の整備 3-4-2 防犯活動・交通安全対策の推進 3-4-3 消費者・生活者の安心の確保
	3-5	環境	3-5-1 環境保全と脱炭素の推進 3-5-2 循環型社会の形成
	3-6	生活基盤	3-6-1 計画的なまちづくりの推進 3-6-2 快適で安全な道路網の形成 3-6-3 都市基盤の保全・整備 3-6-4 安全・安心な水の安定供給 3-6-5 汚水の適正処理 3-6-6 快適で安全な住まいづくり 3-6-7 持続可能な地域公共交通網の形成
<b>4</b> 多彩な産業が活力を生むまち	4-1	起業	4-1-1 起業の支援
	4-2	商工業、サービス業	4-2-1 商工業・サービス業の振興
	4-3	農林水産業	4-3-1 農林水産業の担い手育成と生産振興 4-3-2 農林水産基盤の保全と長寿命化
<b>5</b> 「三原らしさ」を存分に活かし、 人々が交流するまち	5-1	移住・関係人口	5-1-1 移住の促進、関係人口の創出
	5-2	観光	5-2-1 観光の振興
	5-3	歴史、文化財	5-3-1 歴史・文化財の保存・活用
	5-4	空港、港湾	5-4-1 空港・港湾の活用
	5-5	中心市街地	5-5-1 中心市街地の活性化

各施策を推進するための  
重要な考え方

#### 計画の実現に向けて

6-1	行財政運営	6-1-1 適正・効果的な行政運営の推進 6-1-2 適正な財政運営の推進
6-2	デジタル化	6-2-1 デジタル化の推進
6-3	情報発信	6-3-1 戦略的・効果的な情報発信